

B-54 Liveliness の Rheology 的理論考察

郡山女子大 川股浩 ○小池志郎

目的 『Liveliness 研究の一段階として布に連続的反復運動を与え、布がこの外力によってどのような反応運動を示すか?』この問題に対して連続的反復運動の理論的考察を行なう。

方法 布に 連続的反復運動を与える方法と布の反応と取り出す方法の設定、
装置の内容、予測される布からの反応等の理論式。

結果 Liveliness 研究の現段階でこのような測定を行なう事は大きな意義があると同時に、この運動は風合いを見る場合の布を握っては放す動作のくり返しと同じ運動と考えられる。そして、布に連続的反復運動を与えてその反応を取り出す今回の理論が成り立つと思われる。